

# 野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.57

## ■9月議会

### ◆2011年度決算

にじ色のつばさは認定に反対。

★**財政規模は、642億円(一般会計)で前年とほぼ同じ。**市税収入も法人税増があったため前年度並み。

### ★**新川防災公園(仮称) 事業総額240億円**

国からの補助48億と市有売却68億で、市負担は124億円と言うが、実際には152億円の借金をする予定。

土地売却で繰上げ返済すると、今回の補正予算で保健センター売却額相当額で繰上償還した。これは代替地で、URが支払った補償が市に入るもの。今後その補償額含めてまとめてURから市が用地購入する。



また、昨年ヤフー・オークションにかけた小早川邸跡地は最低価格割れで不成立。新川市営住宅跡地のエコタウン事業プロポーザルも最低価格を下げての再募集。土地価格が低迷している中で不確定要素がいっぱい!



### ★**実質債務残高が増大。**

市債発行額は27億円。臨時財政対策債の発行が抑制されたため前年度費減。借金総額の地方債現在高は397億円と減少傾向。しかし、翌年度以降に繰越して支払う債務負担行為が238億円と倍増している。地方債現在高と合すると実質債務残高は635億円、実質将来負担比率は、100%目安が154%となってしまった。特別会計、土地開発公社との連結も増加傾向。

	06年	7年	8年	9年	10年	11年
地方債現在高B	454	435	415	412	408	397
債務負担行為額C	116	108	116	129	213	238
長期債務合計D=B+C	570	543	531	541	621	635
下水道市債現在高	93	97	103	110	110	109
介護サービス現在高	6	13	12	11	9	8
土地開発公社現債額	93	82	81	90	82	80
連結合計	762	735	727	752	822	832

## ■9月議会・議案審査

### ○一般会計補正予算(第2号)

総合保健センター西側駐車場を防災公園代替地として売却し、市債発行額をマイナス(繰上償還)する。緊急雇用特別交付金で4事業追加。合計1億1300万円の増。緊急雇用創出事業の在り方やURが間に入ることなどによる情報提供疑問を指摘して反対。にじ・共産反対の賛成多数で可決。

### ○非常勤特別職報酬条例改正

オンブズマン2人を8週で各5回に削減。市民サービスの低下にならないことを確認して賛成。全会一致で可決。

### ○六小小学童保育所等指定管理者指定

非公募で日本保育サービスに継続指定。審査資料の不充分さを指摘し賛成。共反対で可決。



### ○廃棄物条例改正

ふじみ新ごみ焼却場持込ごみの料金設定。10月から試運転開始に伴う処置。賛成。

### ○自転車放置防止条例改正

三鷹台駅周辺駐輪場の指定管理者移行を遅らせるため。賛成。

### ○井の頭第1~第3駐輪場指定管理者指定

非公募で(株)まちづくり三鷹に指定。双方代理状態と審査資料不足を指摘して反対。

### ○教育委員、公平委員任命の承認

教育委員は学識者と医師が任期終了し、新たに医師と行政職員を任命。公平委員は弁護士と学識者それぞれ交代  
○請願第11号「東京都特定不妊治療費助成の上乗せ補助と環境整備の実施について」討論して賛成するも不採択。  
○請願第10号「市内私立学校運営費助成及び市内在住就学者教育費助成」は討論して賛成するも不採択。

## ■議員提案の意見書は10件、決議は3件。

○私が提出者となった「『原発事故子ども・被災者支援法』に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書」は全会一致で可決。  
○同じく私が提出の「ACTA強行採決に抗議する決議」は、自・民の反対で残念ながら否決。



○にし色のつばさ半田議員提出の意見書「離党者がいるのに離党者分も含めた政党交付金が交付される政党助成法の改正を求める意見書」は、民主のみ反対の賛成多数で可決。

○同時提案の「民主党に、離党者分の政党交付金を国に返還することを求める決議」は否決。

○にし色のつばさ島崎議員提案の「東海発電所及び東海第二発電所の安全性確保と廃炉を求める意見書」は、自・民の反対で否決。

○同時提出の「東海発電所安全性確保と廃炉を、日本原電とJOCに求める決議」は否決。

○『脱法ドラック』とりわけ『脱法ハーブ』に対する早急な規制強化等を求める意見書」は私が賛成討論し、全会一致で可決。

○「子どものいじめと自殺をなくし、教育行政の改善を求める意見書」と「原発からの撤退を求める意見書」は、にし・共産・民主の賛成少数で否決。

○[真の地域主権確立に向けた意見書]は、事務事業移管に伴い、地方交付税不交付団体(三鷹市)へも、経費を適切に交付することを求めている内容だが、地方交付税制度を理解していないような主張や、相矛盾する要望であると半田議員が討論し反対。賛成多数で可決。

## ■議会改革検討委員会。

議長の諮問機関として議会改革を話し合うために設置された

内部委員会ですが、実質議論

に入ったことで傍聴が可能と

なりました。9/27, 10/12と断続的に

開催。議題は災害時の体制と行動マニュアル案

提示。これを会派持ち帰りで次回検討。そして

検討課題の整理。代表者会議同様、会派の結論

を持ち寄り、再度会派に持ち帰るということが

多く、委員会の中で実質的な議論があまりな



されていない。実質的な改革が可能かご注目を!

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会newsNo.57  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104  
Tel&Fax:0422-72-2425  
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net  
Url: http://www.nomura-yoko.net  
Twitter: https://twitter.com/#!/hitujinomura

## ■東京外郭環状道路調査対策特別委員会

行政報告は、国交省による用地買収説明会、東京都による都市計画道路の説明会、9月5日の外環着工式について。終了後休憩して、オープンハウスの速報、東名JCT準備工事区域での土壌汚染問題、外環ノ2一部事業化申請についての報告された。



今回も国からの情報提供の少なさを取り上げ質問。オープンハウスの展示パネルの内容や、説明会の内容、例え他地域でのものであっても、少なくとも地元自治体の担当部署には伝えるべき。特に土壌汚染問題での対応のひどさは際立つ。国への要望を求めた。

## ■9月13日(木)東京外環オープンハウス。

国交省外環国道事務所副所長に、なぜ地元自治体の議会中に着工式をしたのか、地元軽視ではないかと聞く。合せて情報提供のすくな座やまずさについても改善を求めた。

担当職員数名に資料請求し、担当課に伝えるよう要望したが、その後の連絡はない。

## ■外環の2大泉区域1kmの事業認可。

外環本体のJCT用地と一体的な買収を進めるため、都道の改変と称して部分申請が認可。

必要性の有無から話し合うとして進めている武蔵野市や杉並区での話し合いの会では、この事態を受けて更に紛糾。三鷹では、話し合いの会すら実施されていないが、三鷹市は広域での必要性は認めるとしているので要注意!

## ■東名JCT準備工事用地土壌汚染説明会

10月4, 5日、再度鉛が検出されたと報告。外環国道事務所が東京都環境局に提出した書類に不備があるとの指摘が住民からあった。

## ■原発事故の責任をただす!福島原発告訴

東京電力が悲惨な事故を起こしてから1年半。しかし一向に責任が問われていません。福島県民1324人は6月11日に福島地方検察庁に告訴。全国からの告訴・告発を11月15日に追加提出予定。

## 告訴人募集〆切りが10月末に延長!

私は、福島原発告訴団・関東事務局のスタッフとして活動。三鷹市内での3回の説明会、その他高崎を初め説明会やブース出店等の活動の他、事務局体制構築に尽力しています。

## ■さよなら原発!三鷹アクションその4

11月25日(日)13時~ 井の頭公園西園集合

■広域処理でほんとにいいの?その3 11月3日(土)18:30~講師:奈須りえ大田区議@協働センター